承認工事_検査チェックリスト (検査に必要な巻尺や鏡等の器具と、マンホール中心の位置は業者に準備させること)

チェック項目(判断に迷う場合は写真等で記録を取り、事務所へ持ち帰ること)	再施工 指示	チェック
双付管新設		
公共桝と水道メーター箱の外々の離隔が30cm以上取れているか。		
取れていない場合、ヒアリングを行い、協議した記録をメモに残すこと。	要判断	
公共桝と敷地(民民)境界の離隔が50cm以上取れているか。	an wilder	
取れていない場合、ヒアリングを行い、協議した記録をメモに残すこと。	要判断	
図面数値の確認 (5 cm以上の差がある場合に図面修正指示)		
取付管の延長 ※図のA	/	
(公共桝の中心から本管の管芯までの平面距離)		
公共桝の高さ ※図のH		
(流入側の桝の底から公共桝蓋までの高さ)		
下流マンホール中心から取付管の取付位置までの距離 ※図のB		
カメラによる確認(やり直し可能か判断に迷うようなら持ち帰ること)		
公共桝から水を流した時に、本管まで水がたまることなく流れているか。	指示	
取付管内に汚物が引っかかるようなバリや亀裂がないか。	指示	
自在曲管の使用方法が適正か。(逆方向への曲げ施工による帯水はないか)	指示	
Φ90mmのカメラが本管まで到達できたか。	指示	
間取り確認等(写真で判別できない場合等)	/	
直管部が4mを超える場合は、4m毎にゴム輪接合を1箇所設けていること。	指示	
塩ビ人孔接続部は異形接手及び自在受口(15°)を使用していること。	指示	
本管の新設		
図面数値の確認 (5 cm以上の差がある場合に図面修正指示)		
本管の延長の確認(マンホール中心間の距離 または マーカーピンとの距離) ※別紙参考		
カメラによる確認(原則上流から確認、ケーブル長が足りない場合は下流からも入れる)		/
継手部状態(差込不足、離脱等がないか)	指示	
逆勾配不可(帯水していないこと)	指示	
管路に異常(亀裂、凹み)は無いか。(確認できた場合は再施工指示)	指示	
鏡による確認		
管路終端部からライトで照らし、管路の蛇行を確認する。目で見た変形・扁平がないかどうか。	指示	
曲りのある本管に対する追加確認		
曲り箇所にマーカーピンが打たれているかの確認をする	指示	
曲り箇所の位置の確認 (=下流本管からの長さ)		
マーカーピンが正しい位置にあるかマーカーロケーター(施設課持参)で確認する。	指示	
マンホール新設		
図面数値の確認(5cm以上の差がある場合に図面修正指示)		
マンホール内流入側のインバートの管底からマンホール蓋までの高さ		
マンホール中心と、動かない境界からの3点間の距離(平行であれば2点間の距離) ※別紙参考		
目視による確認		
インバートは綺麗に切られており、汚水がスムーズにながれそうか。(主観による)	指示	
底部・インバートに亀裂は無いか。(幅1mm未満、侵入水がないことを確認。)	指示	
管口処理は適正に行われているか。(見た目、モルタル剥離が無いか、侵入水は無いか)	指示	
マンホールの上部モルタル充填は十分か。	指示	

